

手術や入院生活に安心して臨めるように 患者さん一人ひとりの声を拾いたい

越谷誠和病院

埼玉県越谷市の中核病院として急性期医療を中心に担い、2020年には手術室や健診部門も充実した新棟が完成した越谷誠和病院。そうした環境で術前・術後の患者さんと多く向き合う、3年目ナースが大事にしていることは？

仲間と支え合い、 看護を探求

実地指導者として 後輩をサポート

入職3年目になり、病棟チーム内の新人をメインで指導する「実地指導者」を担当するように。私自身が新人の頃は、何の役にも立てず不安でした。だから私が先輩にもらったように、新人の不安を解消する手助けをしながら、一人前に成長する支えになりたいですね。



他部署が主催する 研修も成長の糧になる



看護師として成長できる教育環境は1年目以降も用意されています。興味がある外部研修に勤務扱いで参加でき、費用も病院が負担してくれます。薬剤科や放射線科など他部署のスタッフが専門分野について講義を行う内部研修もあり、さまざまな学びを得ることができますよ。

Hospital data

〒343-0856 埼玉県
越谷市谷中町4-25-5
TEL 048-966-2711
URL <https://seiwa-amg.com/kangobu/>



埼玉県東部第三地区の救急病院として地域医療に貢献しています。あたたかな心と笑顔で、常に患者さんの身近な存在として信頼される看護を目指します。専門職として成長するための教育体制や人材育成に力を注ぎ、生き生きと働ける環境づくりに取り組んでいます。
【インターンシップ】8/25(水) 26(木) 定員5名



担当以外の患者さんのことでも手が空いていれば「私が行きます!」と率先して助け合う仲間たち。そのため業務時間内に終えて帰れるそう



入職2年目からチームをまとめるリーダー業務も任せよう。医師の指示をスタッフに伝え、緊急入院の準備をして…と大活躍!



入職3年目 **小森愛(めぐみ)さん**
整形外科・外科病棟勤務
幸手看護専門学校卒業

**患者さんも看護師同士も
声掛けしやすい雰囲気重視**
整形外科・外科病棟は手術前後の患者さんとかかわります。手術に不安を抱く方も多く、遠慮して術後の痛みを訴えられない方もいます。ですから「何でも尋ねて、話してくださいね」とお伝えしたうえで、看護師からも声を掛けて患者さんの状態を探ることを大事にしています。声掛けを重視する姿勢は看護師同士も同じ。質問しやすい雰囲気ですし、新人の頃は私の様子を見て話しかけてくれる先輩に助けられました。

**患者さんの訴えの背景にまで
思いを寄せ、安心を与えたい**
以前、毎日の洗髪を希望する10代

の男性患者さんがいました。術後で腕を固定していたため、洗髪は看護師が行います。通常の頻度以上に洗いたがるのが不思議だったので、私が洗髪した際に一部に脱毛があることに気づきました。患者さんに話を聞くと「清潔にすれば脱毛が改善するかな」と思っていて、洗髪を望んでいた理由を教えてくださいました。脱毛は手術中の体位で血流が悪くなったせいもあつたようですが、患者さんは誰にも相談できず一人で悩んでいたのです。こうした患者さんにもいるからこそ声を掛け、耳を傾けるのが大切なのだ改めて実感。患者さんは年代も生活背景もさまざまで、想いもそれぞれです。一人ひとりに向き合い、安心を与えられる看護師になりたいです。

羽ばたく未来が見えてくる 先輩たちの声 上尾中央医科グループ

急性期から回復期、療養型など、28もの病院を展開する上尾中央医科グループ(AMG)では、多種多様な病院から最適の職場選び、自分らしいキャリアを築くことができます。充実した教育制度や福利厚生、勤務形態など働き続けるためのサポートもバッチリ! AMGで働く先輩たちにインタビュー。それぞれの環境で、自分らしく輝く未来に向けて前へ進む先輩たちの声をお届けします。

Vol.3 自分らしく看護に向き合う

上尾中央医科グループでは、いきいきと元気で働きやすい環境づくりを目指し、ワークライフバランスの充実をはかっています。仕事にやりがいを持ち、自分の時間も大切に、両方のバランスを保ちながら頑張っている3人の先輩の声をお届けします。

笛吹中央病院

3階病棟勤務 3年目
雨宮ゆいさん



解像度不足です

越谷誠和病院

整形外科・外科病棟勤務 3年目
小森愛(めぐみ)さん



メディカルトピア 草加病院

内科・外科病棟勤務 5年目
間中沙樹さん

WEB FLAP! ナビでも上尾中央医科グループの取材記事を掲載します。近日公開、ぜひチェックしてね!



Click
FLAP!ナビ
www.kangoshinomado.com/

患者さんのかけがえのない時間だから 入院生活の小さな部分も大事にしたい

笛吹中央病院

二次救急指定病院、地域災害拠点病院として急性期医療の充実に努め、救急や人工透析、リハビリ、各種健診、専門外来にも力を入れるなど地域に密着した医療を展開しています。そこで働く看護師の想いをインタビュー。

仲間と支え合い、 看護を探求

仲間っていいな、 と思える職場環境

入職前は先輩・後輩という関係性に苦手意識がありました。でも私が働く病棟は年が近い先輩も多かったためか、とてもいい関係が築けていて意識が変わりました。仕事に関してはもちろんのことプライベートな相談のつてもらうこともあり、いろいろ助けていただいています。



先輩に教わったように 私も後輩を支えたい

新社会人は職場に馴染めずに辞めたいという話も聞きますが、私は環境に恵まれたおかげでそう思うこともありませんでした。私が先輩たちに支えてもらったように、新人さんが困っているときは声をかけたい。そして一緒に学んで、成長していきたいと思っています。



入職3年目 雨宮 ゆいさん
3階病棟 勤務
富士吉田市立看護専門学校 卒業

コロナ禍だからこそ患者さんの身近な存在として役立ちたい
当院は地域に根差した病院として、近隣の患者さんを受け入れています。時には前に入院した方が、違う疾患で来院することも。そうしたこともあり、一人ひとりの関わりを大切に看護しています。患者さんと接する際は、表情などの小さな変化にも注意しています。特に現在はコロナ禍で面会制限があり、入院患者さんとご家族が会いにくい状況。以前は面会時に患者さんのADLや表情の好転を知ったご家族と、私たち看護師が喜びを分かち合えました。それが叶わない現在は患者さんの身近にいる看護師として、日々の様子をご家族に伝えるよう心がけています。

患者さんの人生の一部ととらえ、入院中の時間と真摯に関わる
患者さんとの関わりを大切にしたいと思うのは、入職1年目に終末期の患者さんと接した経験も影響しています。新人だった私は仕事の流れについていくのがやっとで、患者さんに接する時間も短く、たいしたお話しもできませんでした。しかしその方が逝去された後、ご家族から「(患者さんが)喜んでいたら、ありがと」との言葉をいただいたのです。それで、私は何気ない会話だととらえていたけれど、患者さんにはもつと意味のある時間だったのかな...と考えるように。患者さんと向き合う大事さを気付かされたこの経験を忘れず、看護に取り組みたいと思っています。



解像度不足です

指示内容と点滴内容を照らし合わせて、点滴を準備する雨宮さん。当院はバーコード認証システムを導入している



解像度不足です

患者さんとのなげない会話も、患者さんの心が晴れたり、看護のヒントにつながることもあるため、声をかけやすい雰囲気づくりを大切にしているそう

患者さんに信頼され、支えたいから 知識・技術に裏付けられた看護を磨く

メディカルピア草加病院

2012年、病院名から建物まで一新!内科系診療に加え、低侵襲手術センターでの内視鏡手術をはじめとした外科系診療でも地域医療を支える病院です。内科・外科病棟では、どんなことを大切にして看護に取り組んでいるか伺います。

仲間と支え合い、 看護を探求

不安だらけの新人時代、 救ってくれたのは先輩

入職前の病院見学で和やかな雰囲気だなと感じた通り、働いてからも優しく迎え入れてくれた職場。先輩はいつも私を気にかけて、壁にぶつかった時も励ましてくださり、本当に心が救われました。だから新人教育を担当する今、私も後輩の心に寄り添えるよう気を付けています。



新人の教育を通じて 自分も成長できる

新人さんは慣れない業務に不安もあるでしょうが、一方で患者さんの情報収集が細やかで私が気づきを得ることも。「なぜこうなのか、なぜそうするのか」と一緒に考えることが私の学びにもなっていますし、新人教育は新人さんと私が共に成長する機会になっています。



入職5年目 間中 沙樹さん
内科・外科病棟 勤務
聖和看護専門学校 卒業

患者さんの個別性を尊重し一人ひとりに向き合う
私の所属病棟は内科と外科、両方の患者さんを担当します。内科は慢性期の方や長期入院の高齢者の方も多くいます。患者さんのADLが低下しないよう入院中のケアに気を配り、本人やご家族の意向に沿って退院先へ送り出せるように、一人ひとりと向き合うことも大切にしています。外科では不安なく手術を迎えられるような丁寧な説明を行い、術後の痛みや配慮しながらも早期離床に向けてリハビリもサポート。いずれにしても患者さんには個別性があり、「自分がこの患者さんならどうしたいか」という視点を忘れず、患者さんにかかわるよう心掛けています。

患者さんの想いに応えるべく看護の力を磨く日々
患者さんのなかには痛みや不安を言い出せない方もいるので、相手に応じて声を掛け、話しかけやすいように視線を合わせた声のトーンを変えたりなどの工夫もしています。そうするうち、「あなたには話しやすい」と言っていたことも。ですが患者さんの信頼を得るには、接し方や笑顔だけでは不十分。患者さんの「大丈夫だよ」という言葉が本当に大丈夫な状態が見抜く力、看護の意味や必要性を考え抜く力も大切です。私はまだ勉強不足ですが、何でも質問しやすい先輩たちや院内外の研修会への参加など、学ぶ環境が整っているためありがたいと感じています。

Hospital data

〒340-0028
埼玉県草加市谷塚 1-11-18
TEL 048-928-3111 (代表)
URL <https://sv109.wadax.ne.jp/~mtopia-jp/>

「love your life now 一愛し愛される病院」の基本理念のもと、最高の仲間とともに心に添う看護を実践しています。看護部一人ひとりのキャリアを支援し自己成長できるよう、患者さんが安心して医療・看護が受けられるよう、患者さんも職員も幸せになれる看護部を目指しています。



一緒に考え、様子を見て話しかけるなど新人をサポートする間中さん。新人教育を担当するにあたり、看護協会の研修も受講したそう



心電図の読み取り方一つでも先輩との力の差を感じるそう。院内の検査技師が心電図の解説を行う勉強会にも参加して技術を磨いている